

井手町公式LINE

保存版

井手町

防災

ハザードマップ



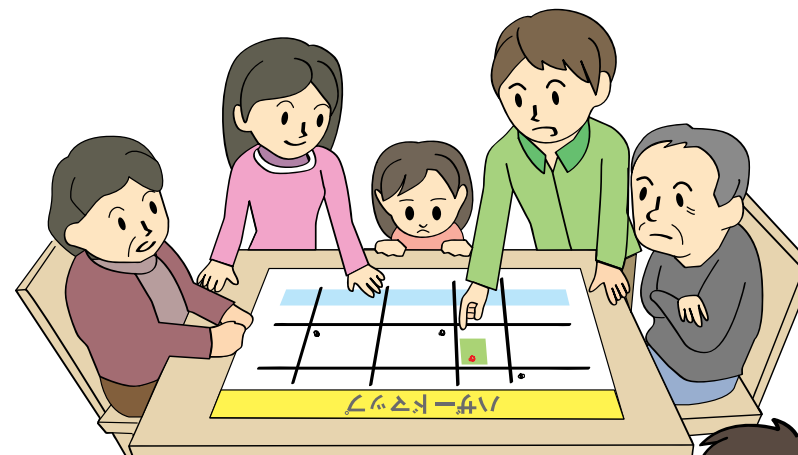
令和7年3月

 井手町

風水害に 備える

早めの行動が命を守る

台風情報などは事前に情報入手が可能です。テレビやラジオ、気象庁のホームページを活用して最新の防災情報を収集し、時間とともに発表される「注意報」「警報」「避難情報」や「警戒レベル」を確認しましょう。危険を感じたら、避難情報が出る前でも迅速に行動することが重要です。また、ハザードマップを日頃から確認し、災害時に「誰が」「いつ」「何をするか」を整理しておくことも大切です。早め早めの行動があなたと大切な人の命を守ります。



1 危険箇所や 避難所の確認

日頃からハザードマップを活用し、周辺の危険箇所や最寄りの避難所を確認しておきましょう。

台風や大雨情報が出てから避難するまでの手順

避難する際はご近所の知り合いに声を掛けよう

避難情報

5 避難情報が出たら すぐに行動!

避難情報が出たら即行動を心がけましょう。避難する余裕がない場合は、屋内で安全を確保し、命を守る行動を優先してください。

避難時の心得!

- 早めの避難と行動を心掛けよう。
- 避難所の開設を確認しよう。
- 避難する際は、隣近所に声掛けしよう。
- 動きやすい服装で二人以上で行動しよう。
- 屋内待機も避難行動です。避難に遅れた場合もあわてずに。

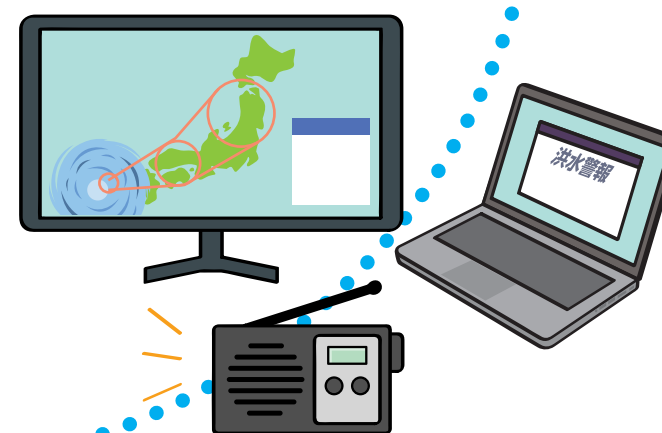
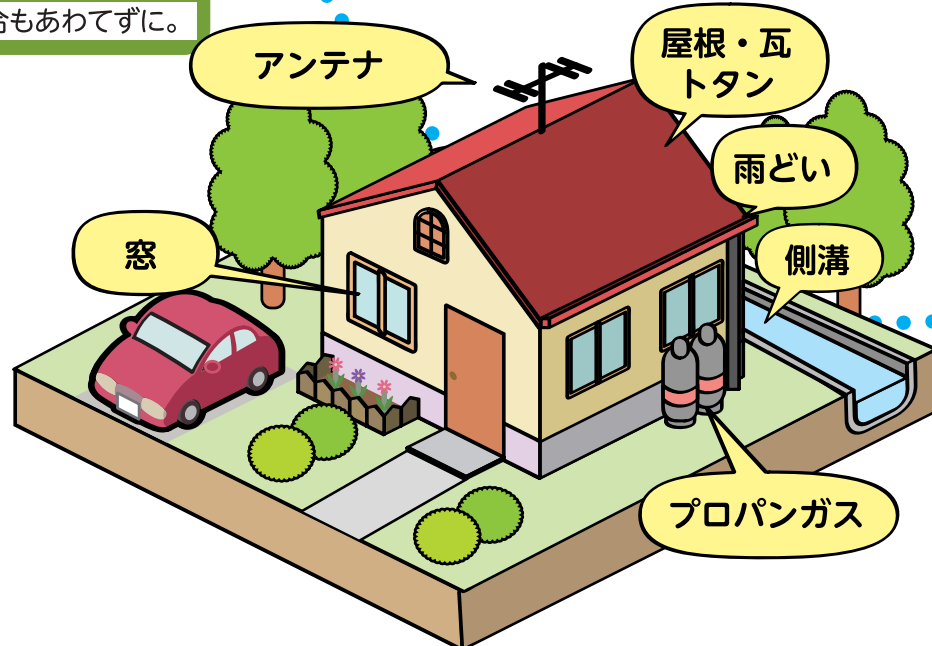


2 非常 持出品の準備

停電や断水、避難所への避難に備え、食料や水、懐中電灯、衛生用品などを非常持出品として準備しましょう。

4 住まいへの備え

台風や土砂災害などに備え、お住まいやその周辺の安全点検を行い、飛散防止や浸水対策を事前に講じましょう。



3 最新情報を 随時確認

テレビやラジオ、インターネットを使って、台風や大雨の最新情報を随時確認し、状況に応じた行動を心がけましょう。

主な防災気象情報

特別警報

命の危険が差し迫る重大な災害の可能性が非常に高い場合に発表します。

記録的短時間 大雨情報

現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせする情報です。

土砂災害 警戒情報

地盤の緩みや集中豪雨による土砂災害の危険性を示す情報です。

警戒レベル

防災情報を「警戒レベル1～5」の数値で表し、住民が取るべき行動を明示しています。

顕著な大雨に 関する情報

非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。この情報は警戒レベル4相当以上の状況で発表します。

(出典:内閣府・気象庁)

マイ・タイムラインを作ろう



名前

家族構成

誰が、どのような行動をするか

地域	誰が	行動
私家族	記入欄	
	記入欄	
記入例	〇〇〇が	気象庁のホームページやアプリで台風・大雨情報を確認。
	〇〇〇が	近所の方や友人と電話で情報を共有する。

※消防団は待機

地域	誰が	行動
私家族	記入欄	
	記入欄	
記入例	〇〇〇が	避難所の場所を再確認し、非常持出品を点検する。
	〇〇〇が	避難経路を確認し、安全なルートを確認する。

地域	誰が	行動
私家族	記入欄	
	記入欄	
記入例	〇〇〇が	家の周辺を確認する。(避難判断)
	〇〇〇が	体調に応じて早めに避難を開始する。

地域	誰が	行動
私家族	記入欄	
	記入欄	
記入例	〇〇〇が	全員を誘導し、安全に避難所へ向かう。難しい場合は屋内で安全を確保する。
	〇〇〇が	みんなの安否確認をする。

警戒レベル4 までに必ず避難完了

避難する場所

①

②

周囲の状況
(雨の強さと降り方)

晴れ・曇り・小雨

強い雨
1時間に20～30mm未満

激しい雨
1時間に30～50mm未満

非常に激しい雨
1時間に50～80mm未満

猛烈な雨
1時間に80mm以上

(出典:気象庁)

緊急情報の 入手先

井手町LINE公式アカウント

井手町では、住民の皆様をはじめ、多くの方々に行政情報を広く発信するために井手町LINE公式アカウントを開設しました。防災情報などの緊急情報をはじめ、観光・イベント情報や文化情報その他、町政に関する情報などを発信していきますので、ぜひ、友だち追加してください。



登録方法

LINEアプリを起動して、次のいずれかの方法で登録してください。

- メニューの「ホーム」から「井手町」または「@idetown」と入力して検索。
- 「友達追加」から「QRコード」を選択して、上のQRコードを読み取る。

メニュー画面



同報系デジタル防災行政無線システム

地域住民の皆様には、いち早く災害などの情報をお伝えするため、情報伝達手段として屋外スピーカーにより伝達します。また、公共施設や指定避難所等には戸別受信機を設置しています。

防災行政無線で流れる主な情報

災害の緊急告知

避難情報

緊急地震速報

気象等の特別警報

有事関連情報

熱中症 特別警戒アラート等

テレホンサービスのご案内(通常の通話料がかかります)

屋外拡声子局(スピーカー)からの
放送内容を電話の音声で確認できます。

電話 **82-6320**

情報の入手先URLとQRコード(町、府、気象台、河川事務所など)



▶京都地方気象台
<https://www.jma-net.go.jp/kyoto/>



▶井手町ホームページ
<https://www.town.ide.kyoto.jp/index.html>



▶きょうと危機監理WEB
https://www.bousai.pref.kyoto.lg.jp/dis_portal/



▶洪水キキクル
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/riskmap_flood.html



▶川の防災情報
<https://www.river.go.jp/index>



▶京都府河川防災情報
<https://chisuibousai.pref.kyoto.jp/>



▶防災情報提供センター
<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>



▶京都府土砂災害警戒情報
<https://d-keikai.pref.kyoto.jp/Top.aspx>

井手町メール配信サービス



メールでの配信

防災情報などの放送内容を携帯電話などにメールで配信します。

- ①本紙QRコードまたは「bousai.ide-town@raidan3.ktaiwork.jp」から、空メール(件名・本文に何も入力しないメール)を送信。(※iphoneについては何かしらの件名入力が必要)
- ②登録案内のメールが返信されますので、メール内に記載されているURLへアクセス
- ③携帯電話の画面に登録完了が表示されます。

FAXでの配信

聴覚障がいのある人など、音声での情報が入手困難な人を対象に、防災情報をFAXで無料配信します。事前に登録が必要となりますので、安心・安全推進課にお問い合わせください。

※自宅にFAXがあり、携帯電話やスマートフォンの使用が困難であることが条件です。

※用紙やインク代などは利用者の負担となります。

【安心・安全推進課:82-6170(電話)】

緊急速報メール

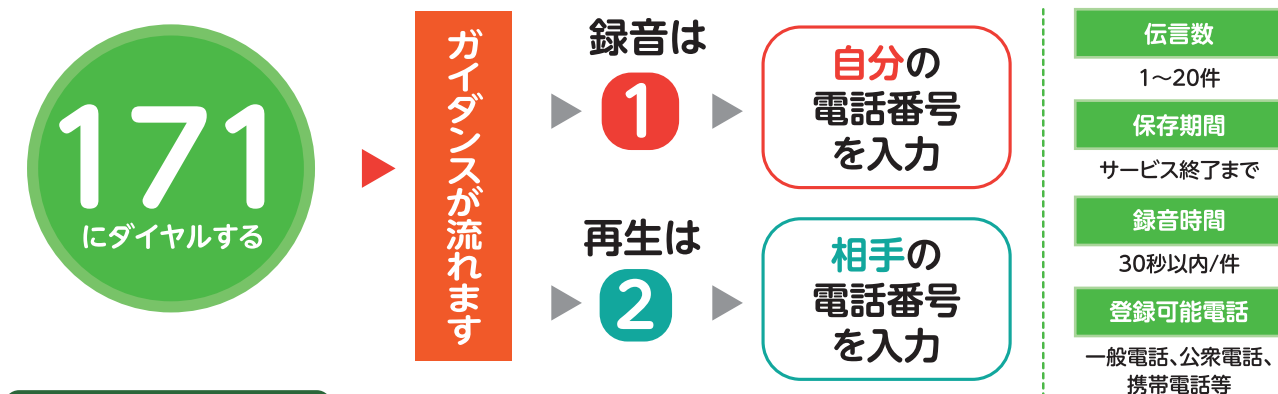
各種携帯電話会社からの緊急速報メールです。
一斉に災害・避難情報を配信するサービスです。受信料や月額使用料は無料です。

特徴

- 町内にいるだけで受信が可能
- メールアドレスの登録が不要
- 災害時での同時配信が可能
- 複雑な操作なしで情報を得ることが可能

災害伝言ダイヤル(171)とは

災害伝言ダイヤル(171)とは被災地の方の電話番号から、安否情報を音声で登録・確認できるサービスです。NTT東日本・NTT西日本の加入電話、ISDN、公衆電話、ひかり電話、特設公衆電話、および携帯電話からご利用できます。



体験利用してみよう!

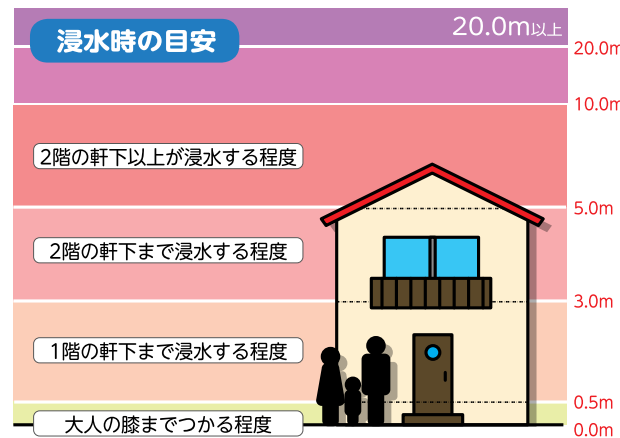
いざ!という時に備えて「毎月1日及び15日」、「正月三が日」、「防災週間」、「防災とボランティア週間」は、事前に利用できるの、みんなで体験してみよう!

ハザードマップの見方

洪水浸水想定区域図(想定最大規模)について

木津川、玉川、青谷川、南谷川、渋川はんらん時

- ①この洪水浸水想定区域図(想定最大規模)は(木津川・玉川・青谷川・南谷川・渋川)の洪水予報区間について、水防法の規定により想定最大規模降雨による洪水浸水区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図です。
- ②この洪水浸水想定区域図は、公表時点の対象河川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により対象河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- ③このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



前提となる降雨				
木津川	12時間	358mm		
玉川	1時間	143mm	総雨量	343mm
青谷川	1時間	144mm	総雨量	344mm
南谷川	1時間	144mm	総雨量	344mm
渋川	1時間	147mm	総雨量	347mm

(参照元: 国及び京都府の浸水想定区域図)

斜線は要注意→家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋の倒壊をもたらすような氾濫流や河岸侵食が発生するおそれがある堤防沿いの地域は、早めの立ち退き避難が必要です。

これらの区域では早めに立ち退き避難をしてください

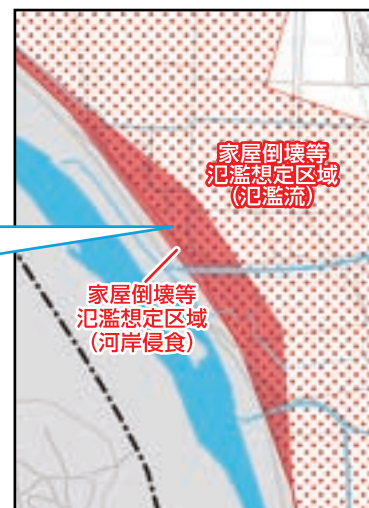


堤防の決壊や氾濫流により木造家屋の倒壊のおそれがあります。



河岸が削られて家屋が崩落するおそれがあります。

ハザードマップでの表記例



土砂災害の特性

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)



特徴

がけ崩れ災害は、地面にしみ込んだ水分で土の抵抗力が弱くなり、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる、急な斜面で発生する災害です。突発的に起こり、速いスピードと強い破壊力をもつがけ崩れでは、人の命が奪われたり、家などの財産が押しつぶされるなど、悲惨な災害につながってしまう傾向があります。

主な前兆

- がけにひび割れができる。
- 小石がパラパラと落ちてくる。
- がけから水が湧き出る。
- 湧き水が止まる・濁る。
- 地鳴りがする。

土石流



特徴

土石流災害は、大雨がきっかけとなり、谷や斜面にたまった土砂が、雨による水と一緒に一気に流れ出して起こる災害で、流れの急な河川や、扇状地などで発生することが多いのが特徴となっています。速いスピードと強い力で、人命や家などの財産を奪い、道路や線路などの交通網に被害をおよぼします。

主な前兆

- 山鳴りがする。
- 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める。
- 腐った土の匂いがする。
- 降雨が続くのに川の水位が下がる。

地すべり



特徴

地すべり災害は、比較的ゆるやかな斜面において、地中の粘土層などの滑りやすい層が地下水などの影響で、ゆっくりと動き出す現象です。広い範囲にわたって起こるのが特徴で、家や田畑、道路などの交通網などが一度に被害を受けてしまいます。地すべりは一日に数ミリ程度と目に見えないほどの動き方ですが、突然数メートルも動く事があります。また、地すべりによってせき止められた川の水が決壊すると、下流に大災害をもたらすこともあります。

※井手町では地すべりの警戒指定区域はありません。

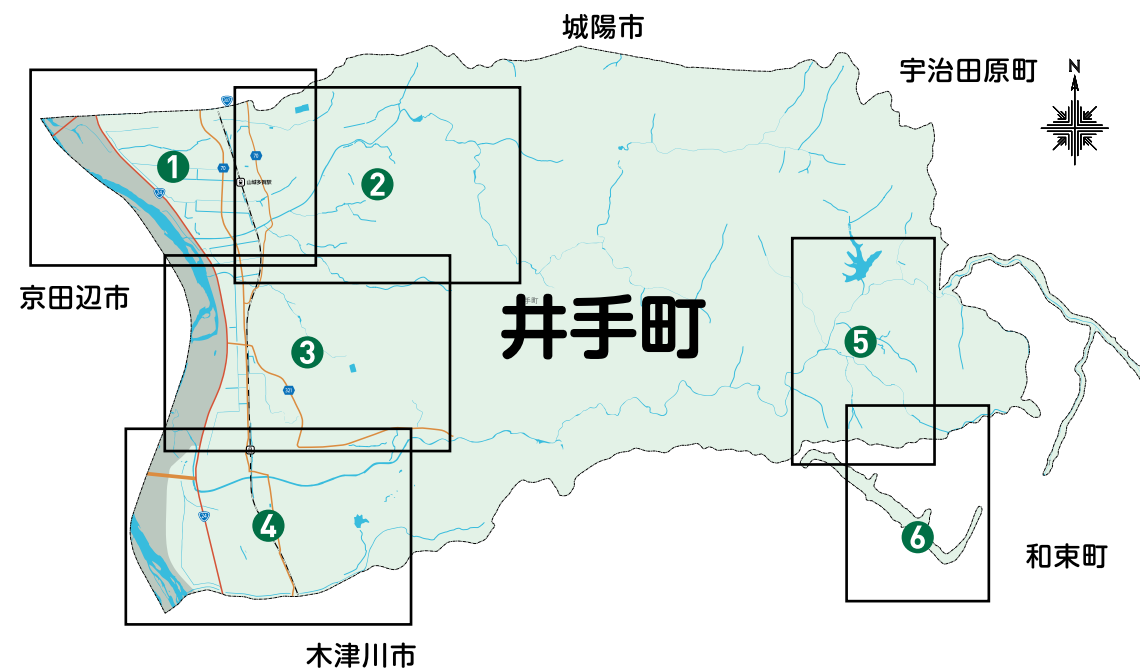
土砂災害警戒区域

土砂災害のおそれがある区域

土砂災害特別警戒区域

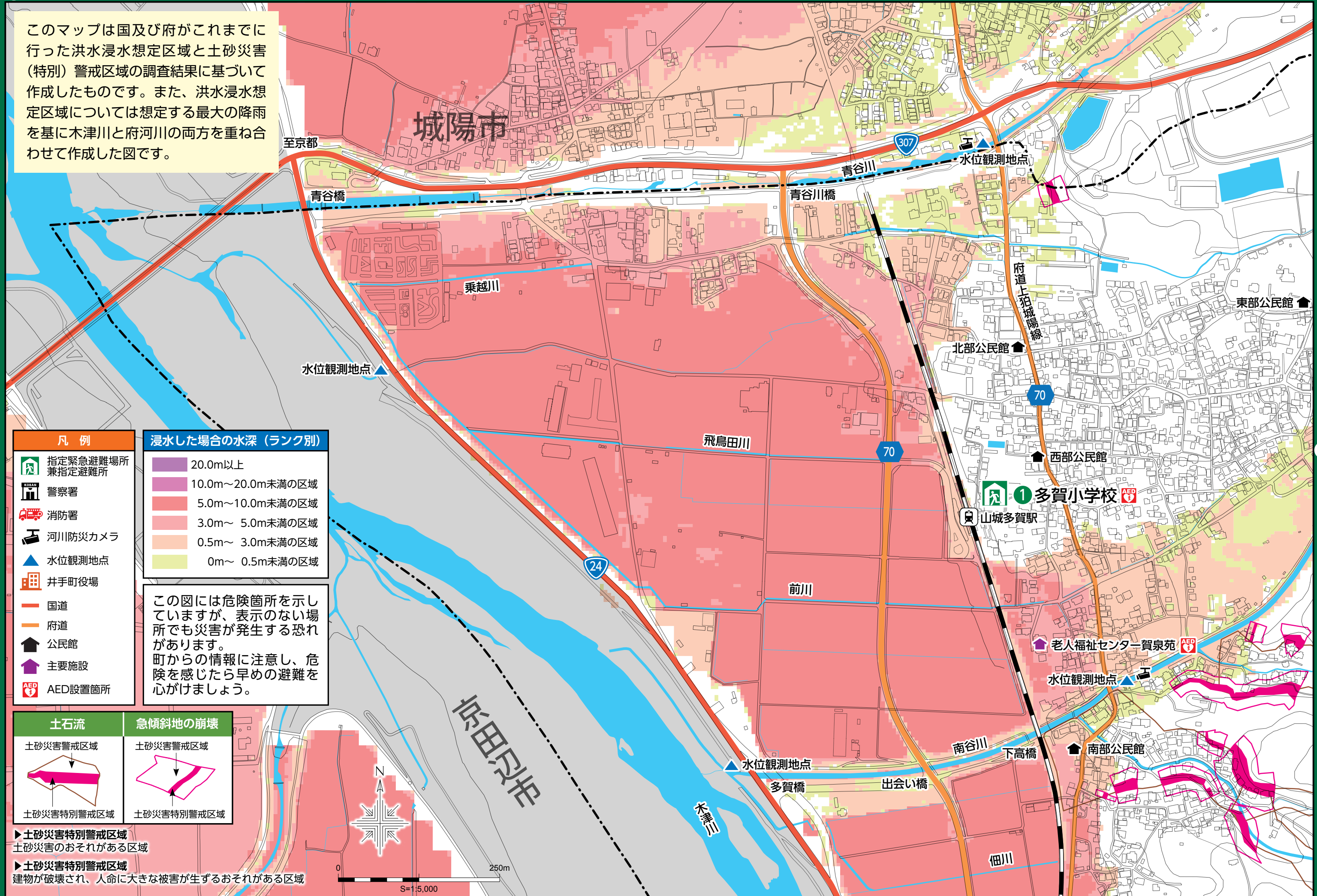
建物が破壊され、人命に大きな被害が生ずるおそれがある区域

全体索引図

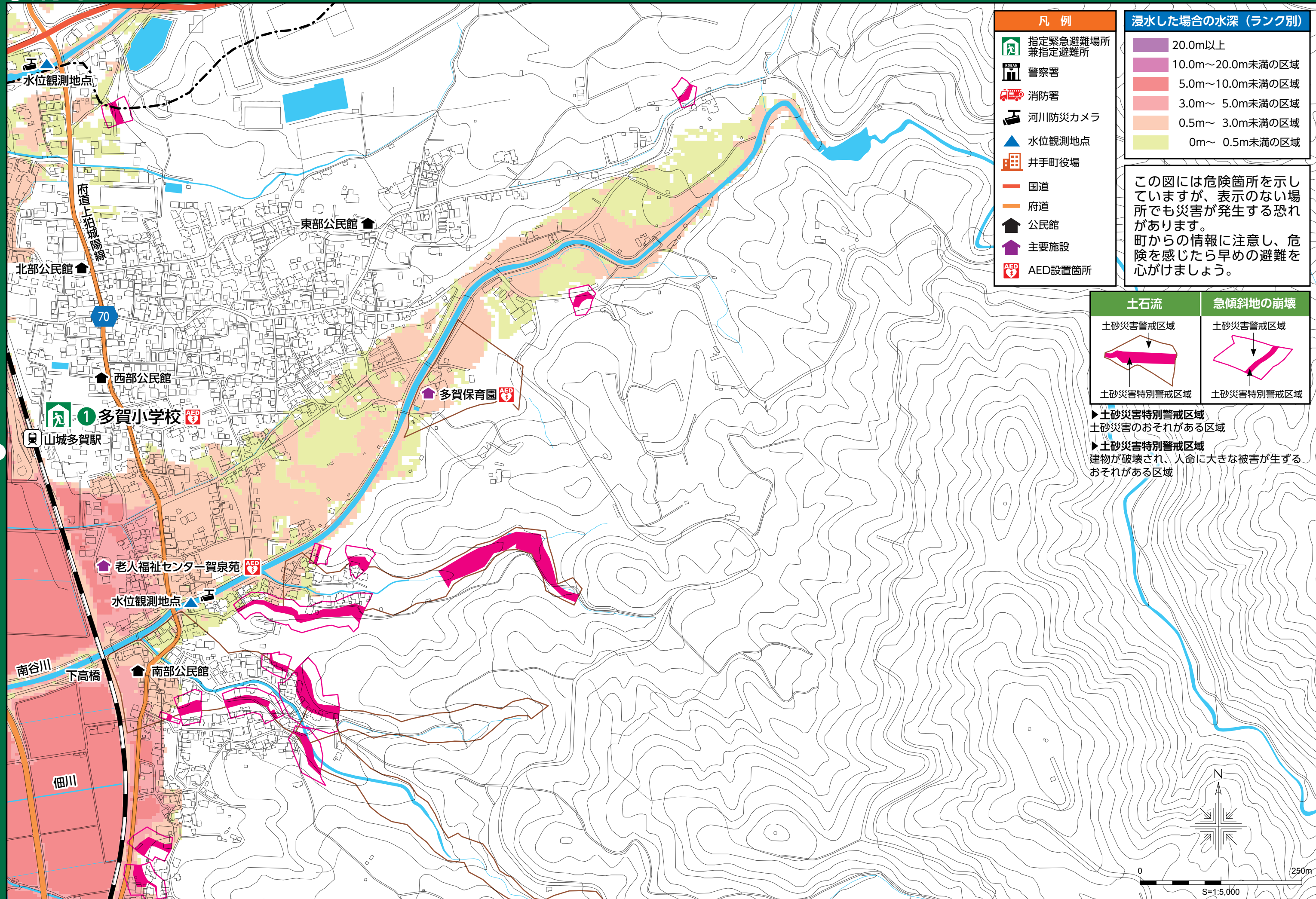


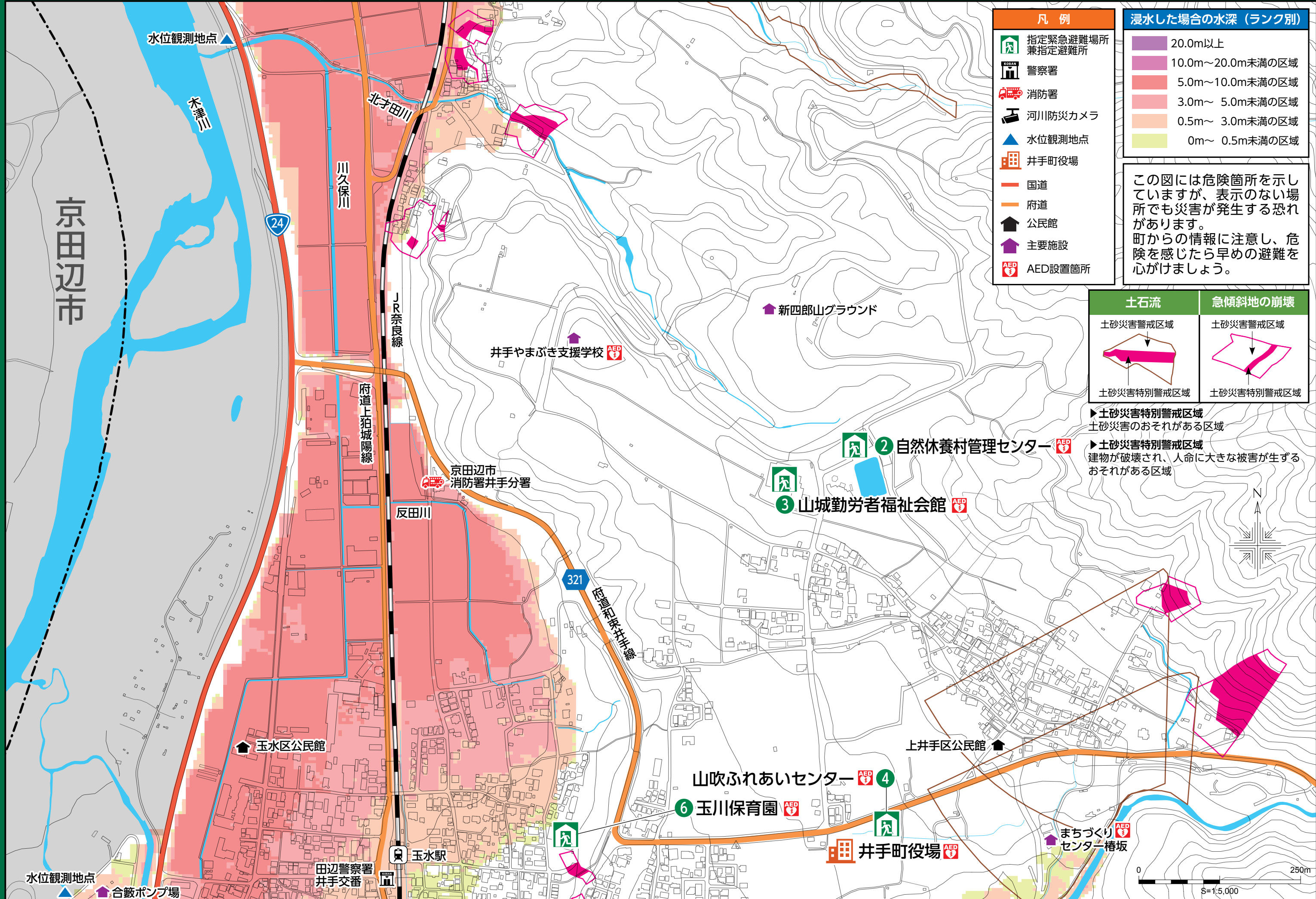
① 井手町ハザードマップ

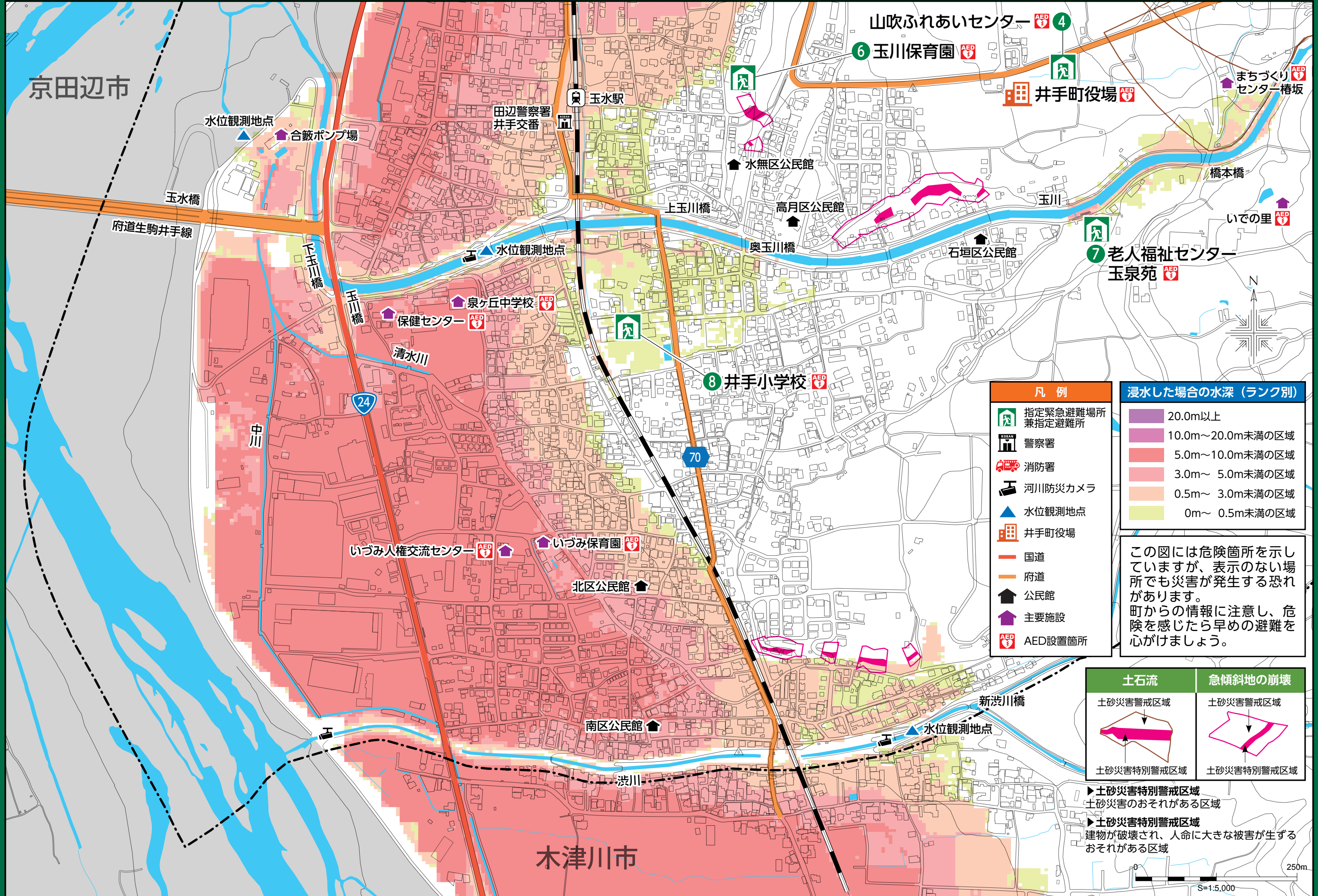
このマップは国及び府がこれまでに
行った洪水浸水想定区域と土砂災害
(特別) 警戒区域の調査結果に基づいて
作成したものです。また、洪水浸水想
定区域については想定する最大の降雨
を基に木津川と府河川の両方を重ね合
わせて作成した図です。



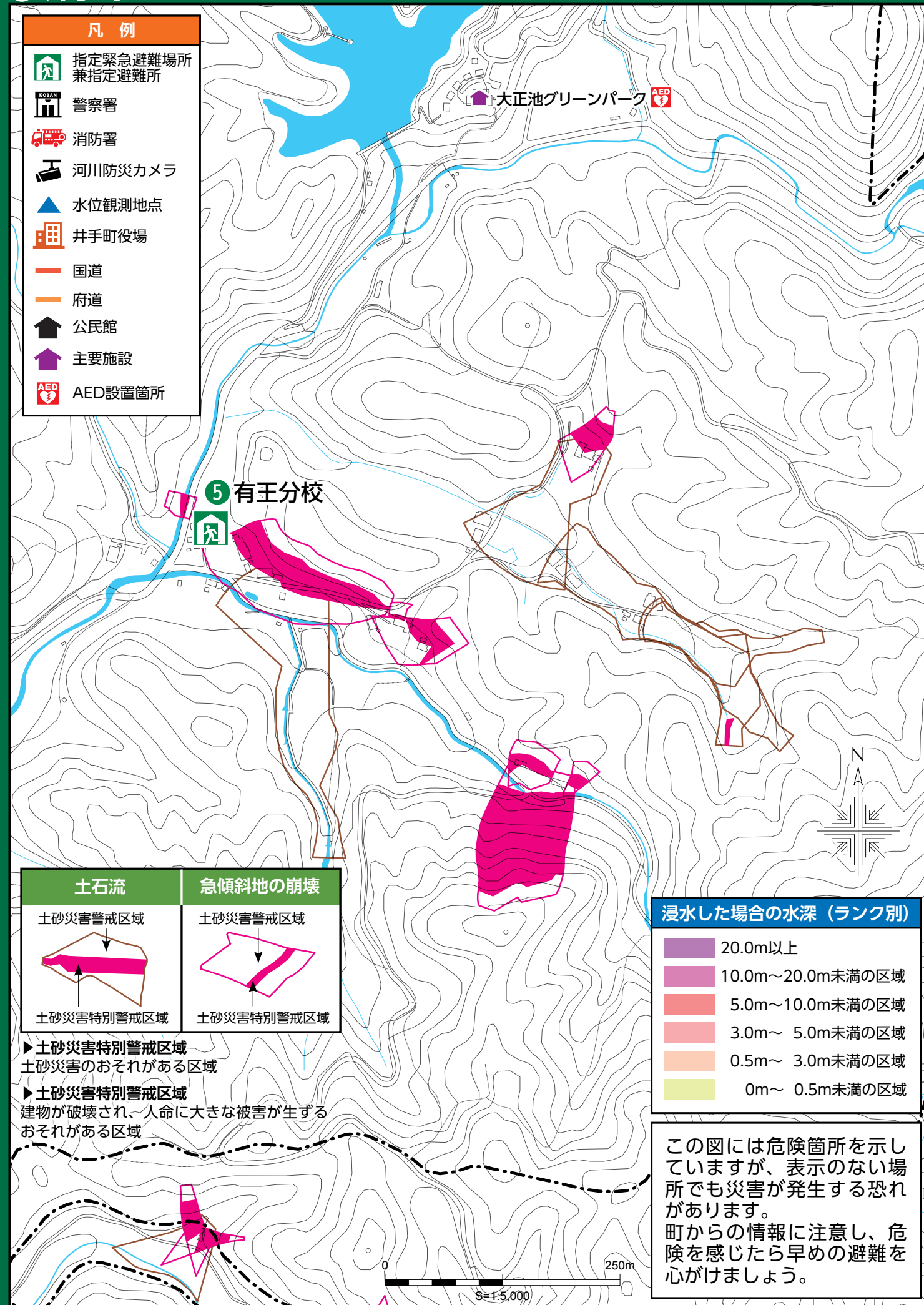
② 井手町ハザードマップ



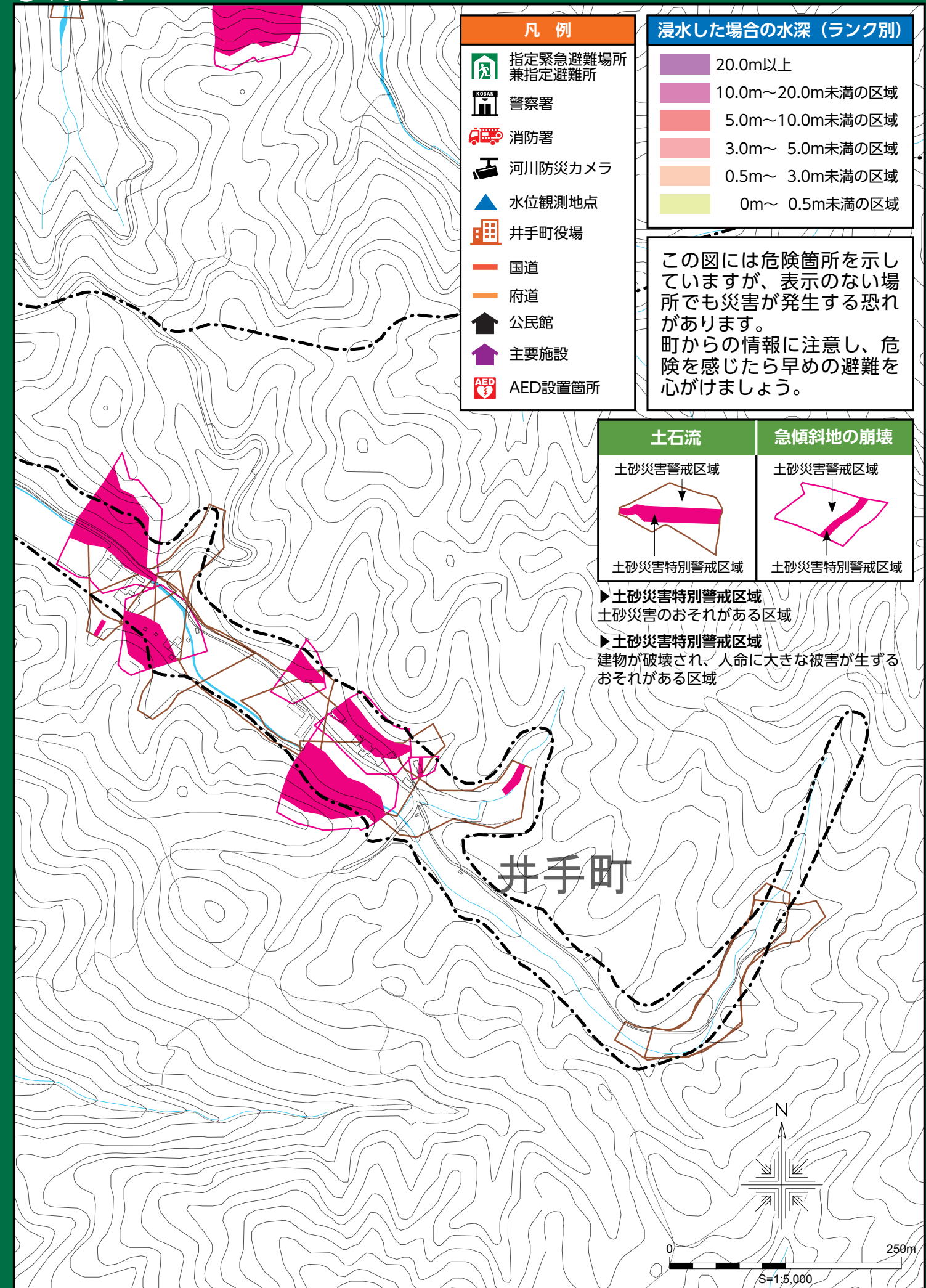


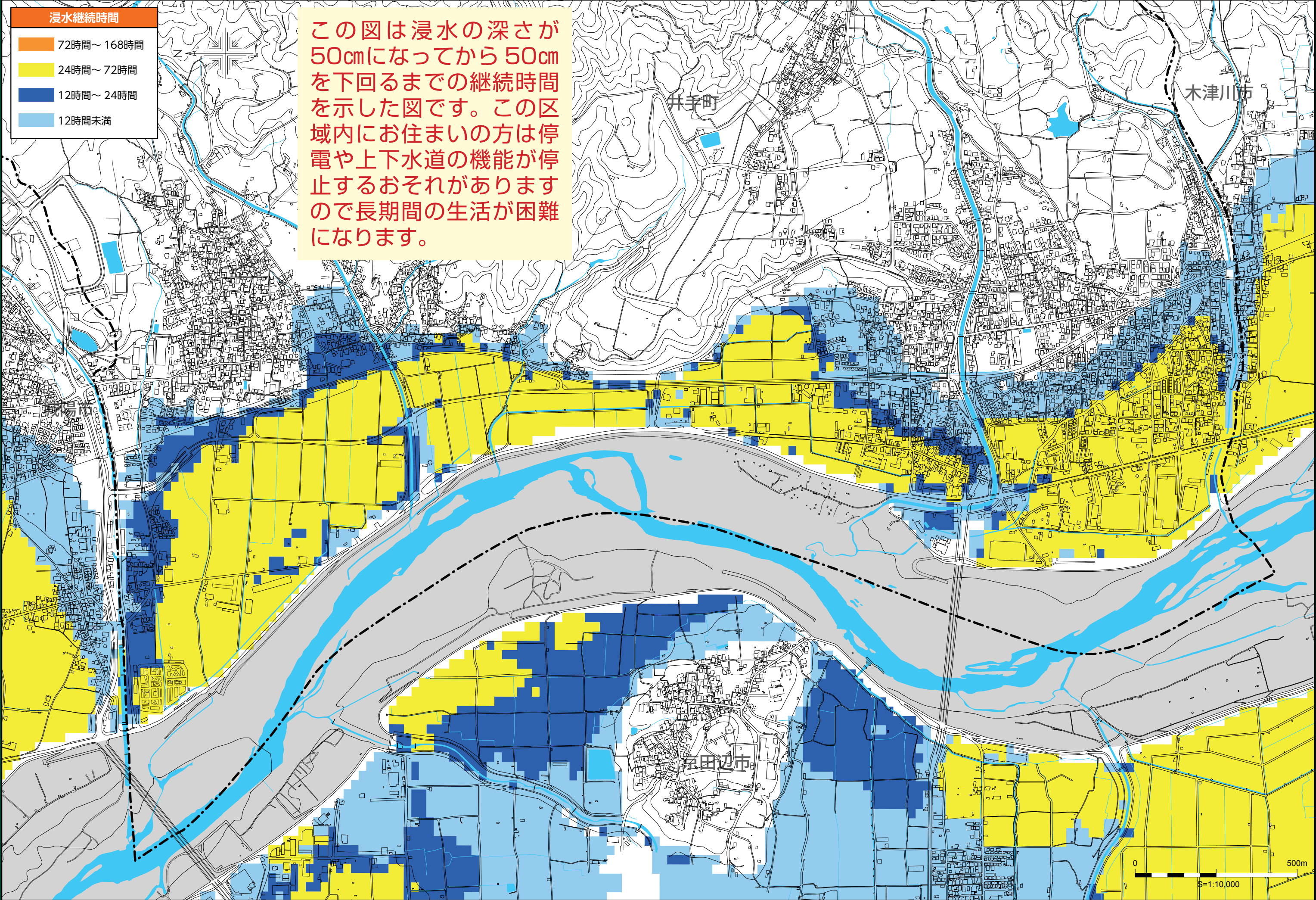


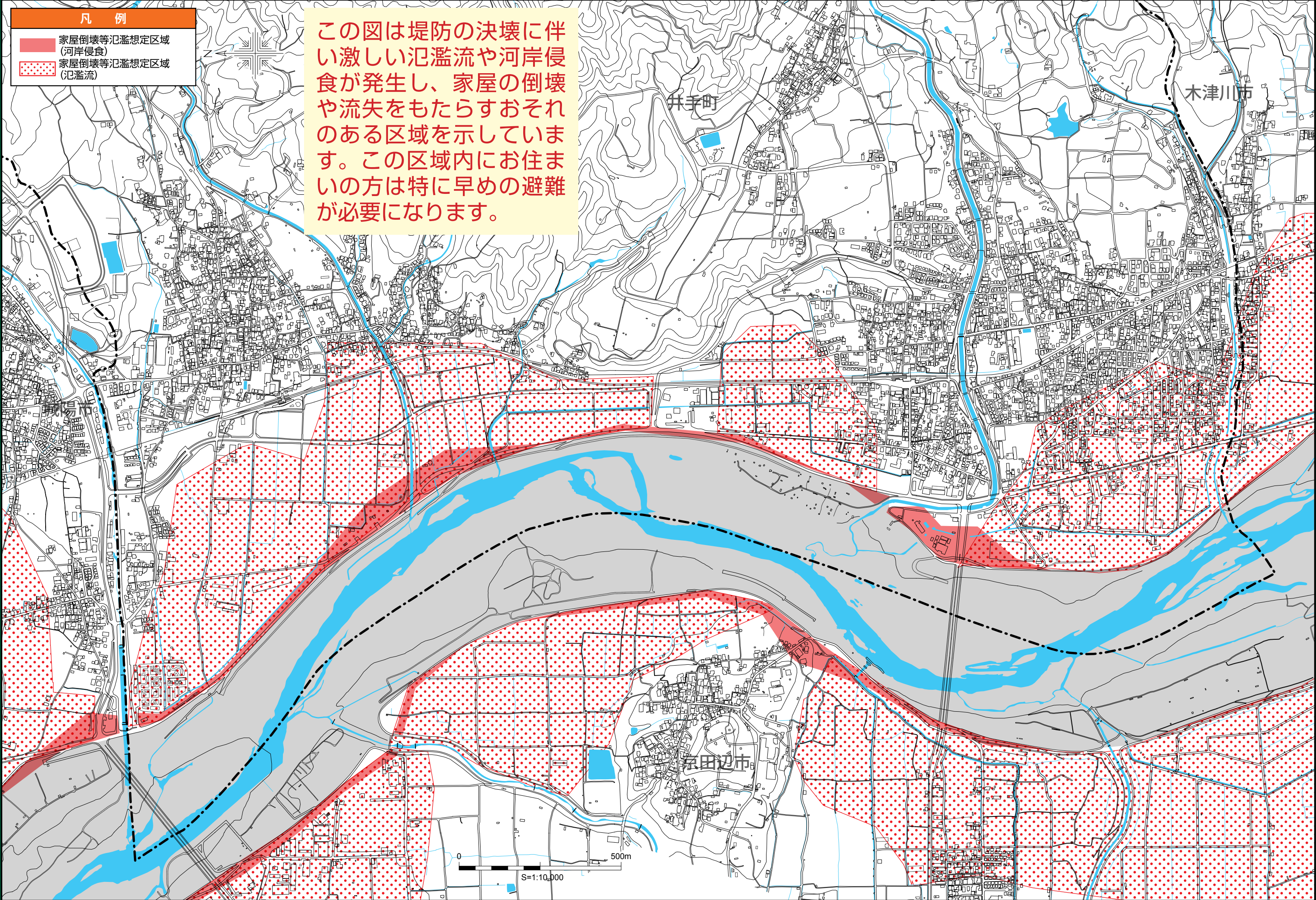
⑤ 井手町ハザードマップ



⑥ 井手町ハザードマップ







地震に備える

地震が発生した時の行動

1 緊急地震速報

テレビやラジオなどで放送されるほか、スマートフォンにも緊急速報(エリアメール等)が発信されます。



2 まずは安全確保

- クッションやバッグなどで頭を守る。
- 机やテーブルの下などに避難する。
- あわてて外に飛び出さない。

6 避難する

- 日頃から非常持出品をリュックサック等に準備し、指定の避難所へ移動する。
- 外へ出る際には落下物や側溝、マンホール等に注意する。
- できるだけ車は使用しない。
- 戸締まりができる場合はしっかり行う。

避難する際のポイント

- 日頃からハザードマップで自宅や職場周辺の災害リスクを把握し避難経路を確認しておく。
- 安全経路で速やかに避難を行う。
- 大きな河川沿いの場合は、直ちに避難する。



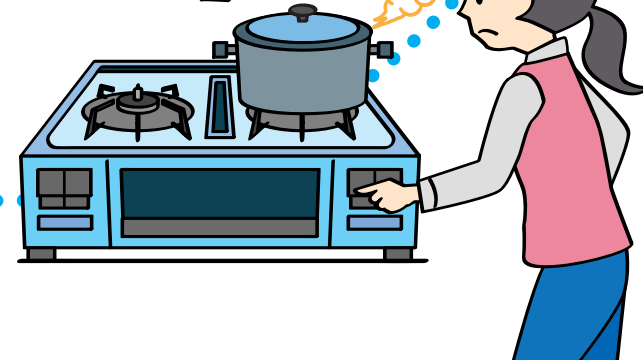
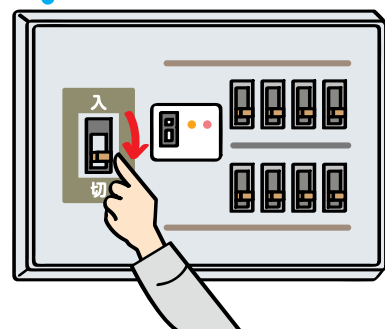
3 逃げ道の確保

- 慌てず、揺れが収まってから窓や玄関を開けて、逃げ道を確保する。
- ガラスの破片等に気を付ける。屋内でも底の厚い運動靴などを履いて移動する。



5 電気のブレーカーを切る

- 漏電などによる火災を防ぐことができる。(日頃からブレーカーの位置を把握しておく)



4 火災を防ぐ

- 暖房や調理中で火を使用しているときは、慌てず様子を見て火を消し、ガスの元栓を閉める。
- 出火している場合は、初期消火を行う。(火傷の恐れがある場合は、無理をして消火しようとしない)

オフィスなどの場合

- コピー機、パソコン、棚など什器が移動してきたり、倒れたりすることがあります。机の下に入るなど、頭部を守りましょう。
- 地震が収まったら、必要に応じて電源を切り、パニックを避け冷静に避難しましょう。



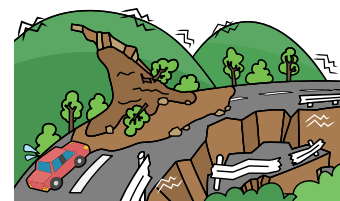
エレベーターの場合

- エレベーターの中にいる場合は慌てず、全ての階のボタンを押して、最初に止まった階で降りましょう。
- 扉が開かない場合は、非常用のインターフォンで連絡し、指示に従いましょう。



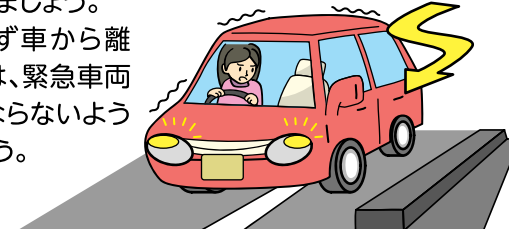
土砂災害に注意

- 地震に伴う大規模な土砂災害の恐れもあります、避難ルートや近所に土砂による危険箇所がないか、あらかじめ確認しておきましょう。



車に乗っている場合

- ハザードランプを点灯し、道路の左側に車を止めましょう。
- 車を置いて避難する場合、ドアロックはせず、カギを付けたままにしましょう。
- やむを得ず車から離れる場合は、緊急車両の妨げにならないようにしましょう。



地震を知る

井手町に最も大きな被害を与えると想定されている

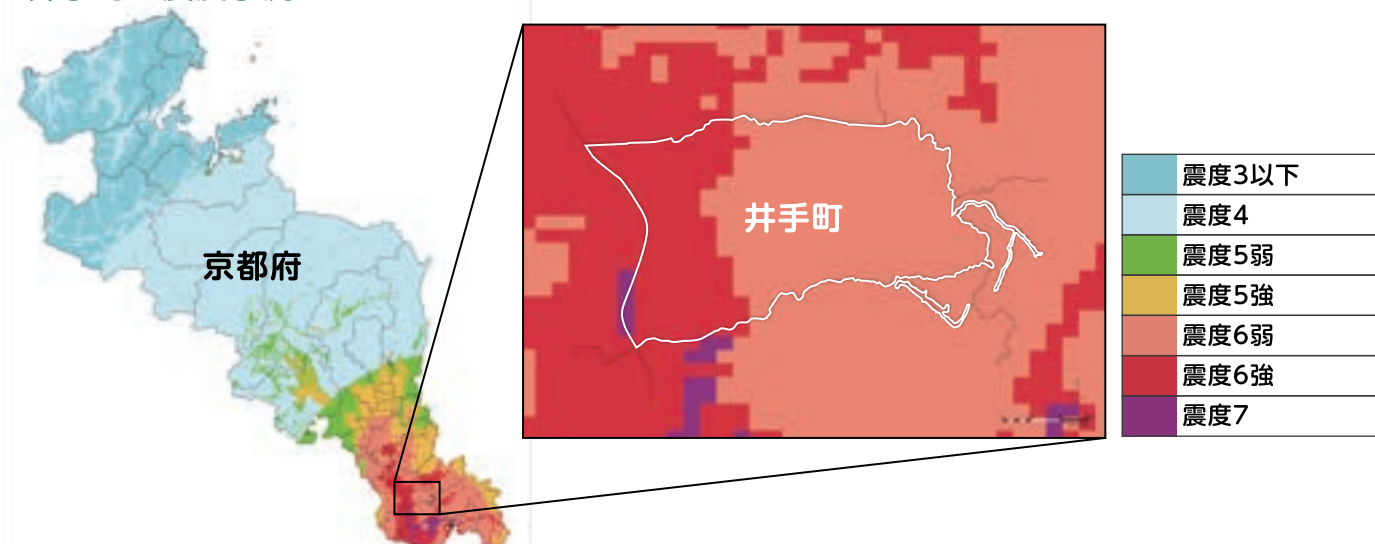
奈良盆地東縁断層帯について

(※出典：京都府地震被害想定調査)

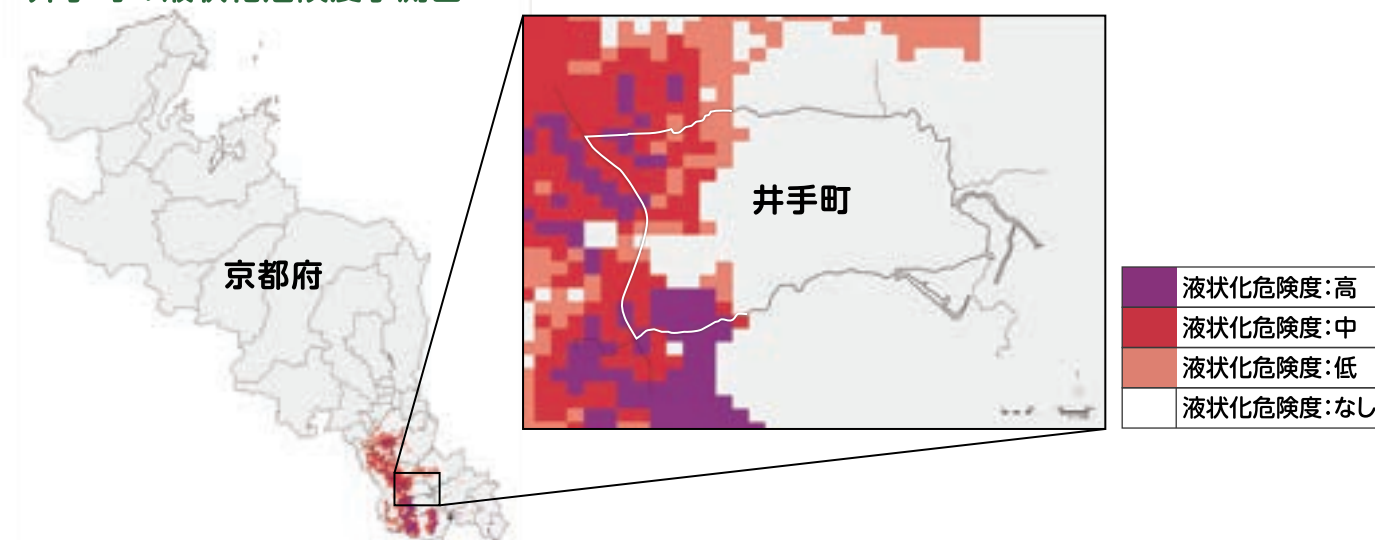
【想定最大震度】

奈良盆地東縁断層帯は、京都府城陽市から奈良県桜井市まで南北に約35km延びる活断層帯です。この断層帯では、マグニチュード7.4程度の地震が発生する可能性があります。今後30年以内の地震発生確率はほぼ0%～5%と評価されています。

井手町の震度予測図

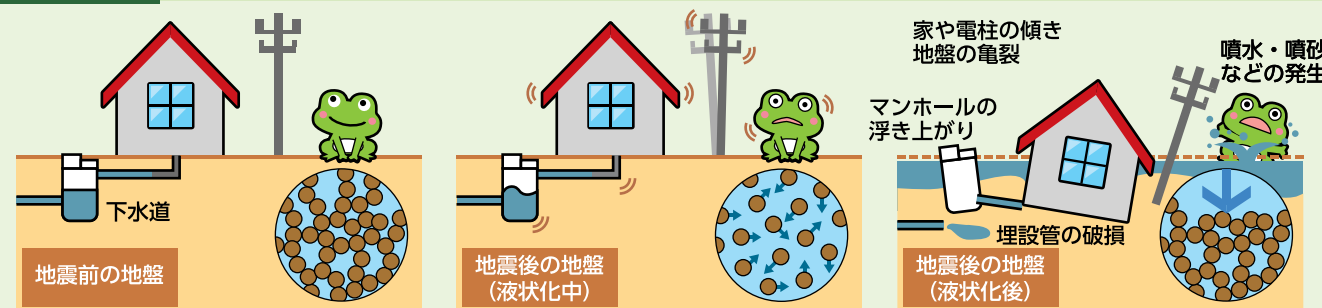


井手町の液状化危険度予測図



液状化

液状化とは、地震の衝撃で土の粒子がバラバラになり、地盤が液体状になる現象です。液状化が発生すると、地盤から水が噴き出したり、また、それまで安定していた地盤が急に柔らかくなるため、その上に建っていた建物が沈んだり(傾いたり)、地中に埋まっていたマンホールや埋設管が浮かんできたり、地面全体が低い方へ流れていく場合もあります。



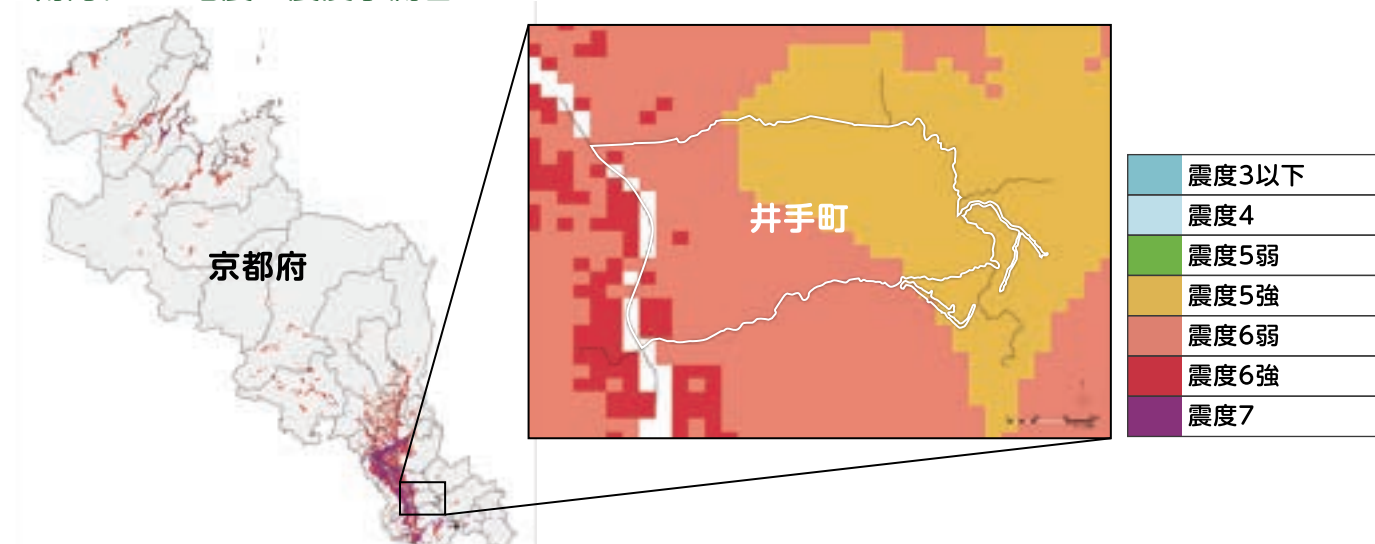
(出典：国土交通省HPより)

南海トラフ地震について

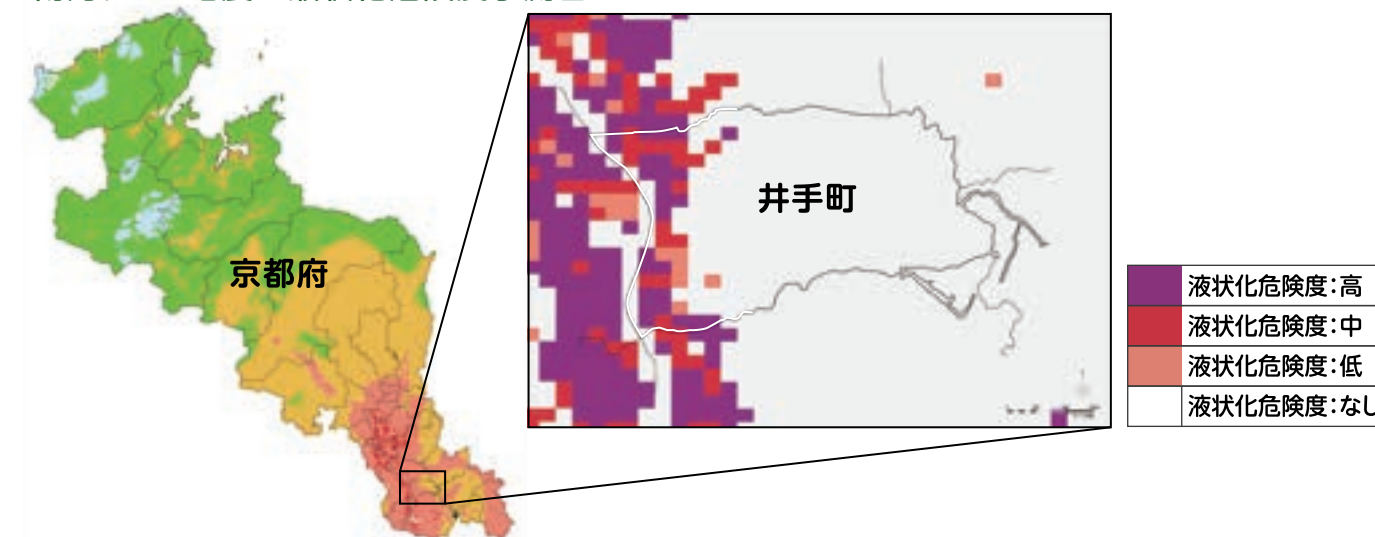
(※出典：京都府地震被害想定調査)

京都府周辺に震源域のある海溝型地震はありませんが、南海トラフで発生する地震で被害を受ける可能性があります。京都盆地・亀岡盆地や、木津川・宇治川流域に沿った地域では地盤がやや軟弱なため、周辺より揺れが強くなる可能性があります。府南部では、南海トラフの地震で著しい地震災害が生じるおそれがあり、「南海トラフ地震防災対策推進地域」にも指定されています。

南海トラフ地震の震度予測図



南海トラフ地震の液状化危険度予測図



地震被害想定結果

断層名	最大 予測震度	人的被害			建物被害		
		死者数(人)	負傷者数(人)	重傷者数(人)	全壊(棟)	半壊・一部半壊(棟)	焼失建物(棟)
奈良盆地東縁断層帯※1	7	1,900	19,700	2,000	46,000	89,500	7,100
	井手町	80	460	80	1,740	1,620	330
南海トラフ地震※2	6強	860	14,650	2,660	15,740	/	54,470
	井手町	10	90	10	120	/	30

※1 京都府地震被害想定調査結果(2008及び2024) ※2 内閣府のデータを基にした京都府被害想定(2014)

最新情報はこちら▶「京都府における地震・津波による被害想定」



避難所 一覧

指定緊急避難場所兼指定避難所

対応災害… ■洪水/■土砂災害/■地震/■大規模火事

NO.	主な対象地区	避難場所	所在地	電話	対応災害	収容人数(人)	AED
①	多賀全域	多賀小学校	大字多賀小字内垣内20-1	0774-82-2112	洪水 土砂災害 地震 火	240	あり
②	上井手	自然休養村管理センター	大字井手小字二本松2-1	0774-82-3111	洪水 土砂災害 地震 火	260	あり
③	上井手・高月	山城勤労者福祉会館	大字井手小字大塚99-35	0774-82-3639	洪水 土砂災害 地震 火	870	あり
④	上井手・高月	山吹ふれあいセンター	大字井手小字東高月8	0774-82-5700	洪水 土砂災害 地震 火	230	あり
⑤	田村新田	有王分校	大字田村新田小字有王13	—	洪水 土砂災害 地震 火	35	なし
⑥	玉水・水無	玉川保育園	大字井手小字玉ノ井47	0774-82-2153	洪水 土砂災害 地震 火	115	あり
⑦	石垣	老人福祉センター「玉泉苑」	大字井手小字東前田28	0774-82-3499	洪水 土砂災害 地震 火	60	あり
⑧	石垣・北・南	井手小学校	大字井手小字野神38	0774-82-2119	洪水 土砂災害 地震 火	255	あり

注) 災害の内容、被害の状況等に応じ上記以外の公共施設等(泉ヶ丘中学校、いづみ人権交流センター、老人福祉センター「賀泉苑」、多賀保育園、いづみ保育園、大正池グリーンパーク)を避難所として開設する場合があります。

注) 災害発生状況、避難者の収容状況に応じて、対象地区内の避難者を、対象地区外の避難所に誘導する場合があります。

指定緊急避難場所とは

緊急に避難する際の避難先です。災害により危険が切迫した状況に応じて開設され、洪水、土砂災害などの種類ごとに指定されています。

指定避難所とは

災害によって家に戻れない場合や住宅を失った場合などに、一定期間滞在したり避難生活を送るための場所です。

避難所生活の注意点



避難所は、自主防災組織や避難されている方々で運営していただくこともあります。自分たちでできることをし、お互い支え合い、生活しやすい環境を作っていくよう協力しましょう。

必要とする支援の違いを理解する

避難所には乳幼児から高齢者まで幅広い年代の人が来て、性別や年代ごとに求める支援の内容も異なります。それぞれ支援の違いがあることを理解しましょう。

避難生活の長期化

被害の規模や復旧状況により、避難所での生活が長期化する可能性があります。避難生活が長期化する場合は少しでも快適に生活できるよう、お互いに助け合い、ストレスを発散できるようなイベント・交流の機会をつくったり、定期的に清掃をするなどして避難所環境を維持しましょう。

ペット同行のマナー

ペットを同行して避難する際は、周囲の人に迷惑がからないように、衛生面や騒音面に配慮しましょう。

自主防災 について

自主防災組織とは

地域住民が主体となり、自分たちの地域の防災活動を行う組織です。平時には、防災知識を高めるためワークショップを行ったり、防災訓練や地域の防災安全点検の実施をするとともに、防災資機材の備蓄・点検といった活動に取り組みます。

また災害時には、防災訓練を活かした初期消火、地域の要配慮者の誘導、負傷者がある場合は救出・救護を行い、避難所なども協力しながら運営していただきます。

自主防災組織で活動しよう

大規模な災害になると、役場や消防署など公助は期待できません。「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の精神でお互いに助け合い、協力することが大切です。

平常時

防災訓練

消火訓練、避難訓練など



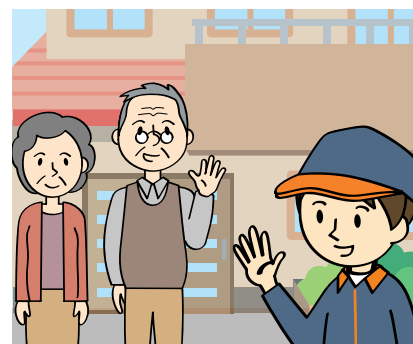
防災知識の普及・啓発

自主防災組織の防災訓練、防災研修など



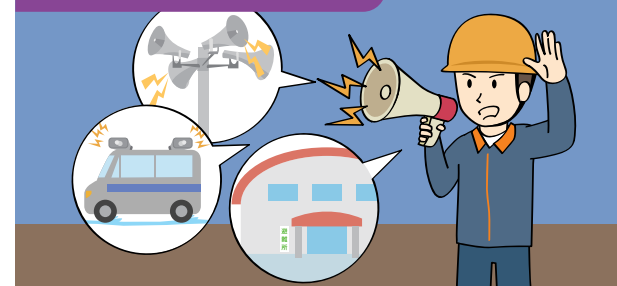
地域の安全点検、確認

まち歩き、ハザードマップ、マイ防災マップの作成など

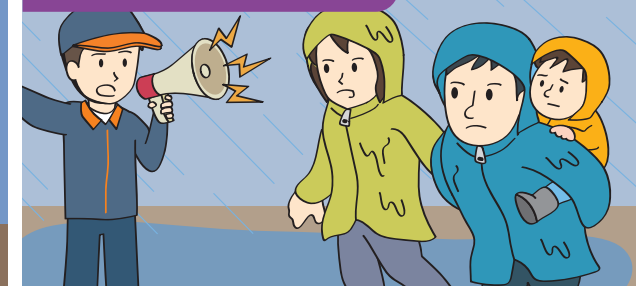


災害時

災害情報の収集と伝達



地域の人の避難の誘導



手助けが必要な方への支援



避難所の運営



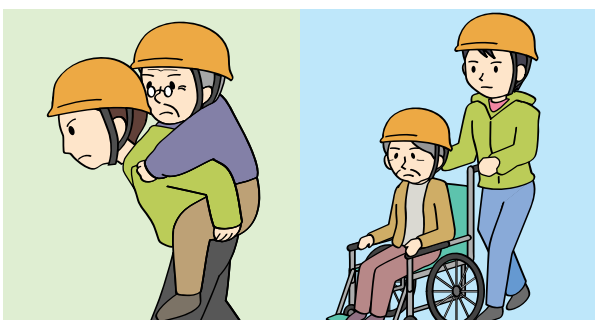
避難行動要配慮者

避難行動要配慮者とは

災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者（高齢者・障害者・乳幼児など）であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に配慮を要する人のことです。

高齢者・寝たきりの方

緊急のときは、おぶって安全な場所まで避難し、複数の介助者で対応しよう。



耳が不自由な方

ゆっくりわかりやすく話そう。また、身振り、手振り、筆談を使って正確に伝えよう。



目の不自由な方

まず、声をかけ、誘導する場合は、杖を持っている反対の手で、自分の肘を軽く持ってもらおう。



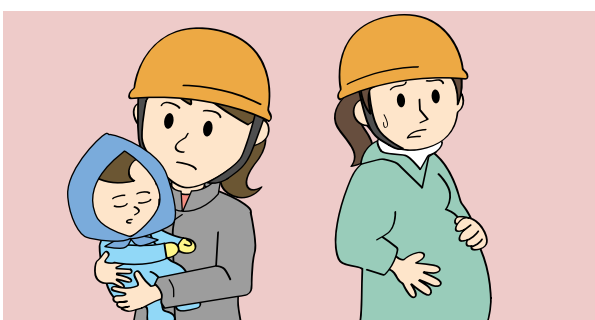
肢体が不自由な方

階段は必ず2人以上で。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動しよう。



妊産婦の方

支援が必要か、まず声をかけ、必要に応じて対応するようにしよう。



外国の方

言葉が通じない場合は身振り、手振りで行えるだけ正確な情報を伝え、できれば一緒に避難・誘導するようにしよう。



非常持出品

非常時に備えて日ごろから準備しておきましょう。また、電池や食料品など期限のあるものは半年に一度程度チェックしておきましょう。
※避難時にすぐ持ち出せるようリュックサックに入れて、目のつく所に保管しておきましょう。

非常持出品

- 食品
- 飲料水
- レトルト食品 など

- 貴重品
- 現金
- 保険証 など

- 要配慮者のいる家庭
- 障害者手帳
- 常備薬 など

- 乳幼児のいる家庭
- ミルク
- おむつ など

- その他
- 衣料品
- 筆記用具 など



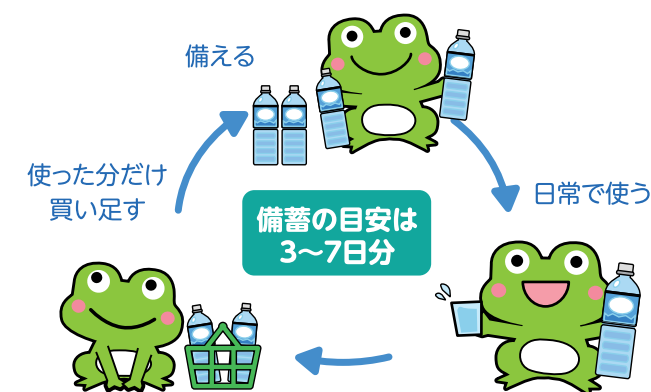
備蓄品

- 日用品
- 食品・保存水
- 懐中電灯・充電器
- 携帯ラジオ
- 調理用品
- ヘルメット
- 軍手・ロープ
- 使い捨てカイロ
- ライター・ろうそく
- 電池 など

備蓄の目安は
家族の人数×最低3日分



ローリングストック法



ローリングストック法とは

災害時に普段の食料を非常食にするという考え方です。

- 食べ物や日用品を多めに購入
- 「少し多めに残っている」状態を維持
- 古いものから日常で順に消費
- なくなる前に買い足し

を繰り返すことで災害時に多めに残っているものが非常食となり、賞味期限を気にすることなく、自分の好きなものを非常食とできることです。

以上は参考例です。各家庭の状況により備蓄するものは違います。家族で話し合い、必要なものを準備しておきましょう。

我が家の防災メモ

いざという時のために、あらかじめ記入し、家族みんなが分かるところにおいておきましょう。

みんなの避難場所	みんなの集合場所	災害時の緊急連絡先

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

火事・救急 119番

緊急連絡先

事件・事故 110番

※119番通報するときは、あわてず落ち着いて、急病なのか、事故なのかをはっきり伝えましょう。

火災・救急車

- 京田辺市消防本部 TEL.0774-63-1125
- 京田辺市消防署井手分署 TEL.0774-82-3000

警察への急報

- 田辺警察署 TEL.0774-63-0110
- 田辺警察署井手交番 TEL.0774-82-2004

電気の不具合

- 関西電力 (伏見営業所) TEL.0800-777-3081

水道の不具合

- 井手町上下水道課 TEL.0774-82-6169

お問い合わせ

井手町役場 TEL.0774-82-2001 (代表)

〒610-0302 京都府綴喜郡井手町大字井手小字東高月8番地